

第2期中期目標期間（令和元年度～令和6年度）における業務実績見込みに関する評価意見【項目別】（大学回答部分抜粋）

資料5

- ① 花泉委員
- ② 後藤委員
- ③ 石井委員
- ④ 伊藤委員
- ⑤ 小島委員
- ⑥ 高山委員

1	大学の教育研究等の質の向上に関する目標					
(1)	教育に関する目標					
イ	大学院教育に関する目標					
中期目標		①大学院においては、社会情勢の変化や時代のニーズに対応するとともに、内部進学を促進させるなど4年制の学部との教育的連携を確立し教育の質の向上を図る。また、博士前期課程では、専門的基礎能力の向上と研究能力の養成を行い、博士後期課程では、先駆的・先進的な技術課題に取り組む能力を高め、豊かな創造性と主体性を備えた高度専門技術者及び研究者を育てる。				
第2期中期計画		業務の実績			評価意見等	大学回答
		自己評価	主な実績	補足事項		
8	①-4 学科再編後の入学生の学年進行に合わせて、大学院の組織再編を行う。	B	○学部から大学院博士前期課程にかけての「6年一貫教育」の拡充を図った大学や、既存の専攻に係る課程を廃止し、新たに総合工学専攻の1専攻に再編した大学の情報収集を行うとともに、大学院の再編と併せて専攻定員の適正化を図った事例の情報収集を行った。情報収集を行った大学院の組織再編の事例を参考にしながら、令和8年度からの再編に向けて、令和5年度の早期に準備委員会を設置し、検討を開始することとした。		「令和5年度の早期に準備委員会を設置し、検討を開始することとした」となっているが、現在の進捗状況を確認したい。①	令和5年6月1日付けで、大学院再編準備委員会を設置し、8月8日に開催した第1回大学院再編準備委員会では、大学院再編の方針を協議するとともに、部会の構成員に関する承認を得た。今後は、部会において、再編に向けての具体的実務を協議していく。

中期目標		②大学院の入学者を確保するとともに、独創的な発想力と、研究に対する実行力を持ち、専門分野を極めたいという意欲のある人材を受け入れる。				
第2期中期計画		業務の実績			評価意見等	大学回答
		自己評価	主な実績	補足事項		
9	②-1 アドミッション・ポリシーに基づき、入学者選抜を行い、入学者を確保する。また、アドミッション・ポリシーを継続的に検証し、見直す。	B	○アドミッションポリシーに基づき、大学院博士前期課程（7月日程、2月日程）及び大学院博士後期課程（2月日程）の入学者選抜試験を適切に実施した。	○大学HP（入試結果） https://www.maebashi-it.ac.jp/exam/result.html ○志願者数・入学者数 R5:博士前期80人・71人（定員48人）、博士後期2人・2人（定員4人） R4:博士前期62人・50人（定員48人）、博士後期2人・2人（定員4人） R3:博士前期79人・66人（定員48人）、博士後期4人・4人（定員4人） R2:博士前期43人・34人（定員48人）、博士後期5人・5人（定員4人）	R5 博士前期の入学者数71名は定員48名の1.4倍を超えているが、定員充足率の許容される上限と下限について確認したい。①	令和4年度に認証評価を受審した「一般財団法人大学教育質保証・評価センター」は、具体的な定員充足率の基準を示していない。また、大学院設置基準等にも基準はない。